



第1位に輝いたサークル「ランナー」のメンバーと樋口社長(中央)

「ランナー」は2008年4月に結成されたサークルで、デジタルピッキングで商品仕分け作業に走り回っている姿から命名。今回は関東営業所が扱って

川崎陸送(KRT、本社・東京都港区、樋口恵一社長)は6月29日、第38回KRT QCCサークル代表発表大会を開催した。予選を勝ち進んだ12サークルが発表し、量販店関係の作業効率アップに取り組んだ関東営業所の「ランナー」が第1位に輝いた。また、積地納品手順書とハザードマップ作成をテーマとした、武蔵村山営業所の「TEAM634」が第2位、ヒヤリハットの削減をテーマにした山口営業所の「長州ファイブ」が第3位に選ばれた。

川崎陸送

「第38回KRT QCCサークル代表発表大会」を開催

12サークルが発表し、関東営業所「ランナー」が第1位に

いる大手量販店関連作業の効率アップをテーマに選定した。

関連の作業のうち一人あたりの作業別平均時間が長いのが、埼玉県三郷のセンター向けのデジタルピッキングと箱詰め作業。箱詰め作業については、一人1時間あたりの箱詰め量は54ケース、97ボールでこれをそれぞれ25%アップすることを目標とした。

箱詰め作業の時間を短縮するために、作業の早い作業員と遅い作業員をビデオ画像で比べ、「ケース商品からステッカーを張り、残った枚数を確認してから箱詰めする」「箱に詰める商品の量を箱の大きさの8割までとする」「最初から入れる」という3つの箱詰めルールを決めた。

加えて、パレットに空き箱を用意しておくようにし、荷主の了解を得て箱のサイズを特大サイズに統一。ケース商品のカラーテープを省略できるものは省略することとした。これにより、一人1時間当たりのケース作業量平均は約33%、ボール作業量平均は約25%改善。これにより派遣スタッフ1人を削減できた。

また、改善提案制度の優秀賞3件、努力賞5

った場合でも現場の作業員や運転者のみの判断で対応することは難しいため、現場対応に関する関係者間で情報伝達が行われることが望まれている。

このため2005年に国土交通省等は「国際海上コンテナの陸上における安全輸送WG」において、「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」を作成し、周知徹底を図ってきたが、その後、国土交通省において、10年から12年にかけて「国際海上コンテナに係る事故防止対策推進事業」において実証実験を行い、コンテナトレーラの横転原理、情報伝達の実態を踏まえた各種対策について一定の見解を得られ、「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」の一部を改定し、同ガイドラインの詳細の取組事項を記した「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」

を策定した。

ガイドラインでは、コンテナトレーラの安全運転として、安全な速度、適切な運転操作による安全運転、緊縮ロックの徹底等を要望。コンテナ情報の伝達については、重量、品目、梱包等、危険物等に関する情報伝達を行うこととしている。不適切コンテナの発見および是正のための措置では、入港前までの書面による事前確認と入港後の現場における不適切コンテナの発見および是正を求めている。コンテナへの貨物の積付けに関しては、輸入コンテナの発荷主への適切な積み付けの依頼、輸出コンテナの適切な積付けを行わなければならない。8月1日からガイドライン・マニュアルの運用を開始し、秋以降フォローアップを行い、必要に応じて周知策および内容の見直しを予定している。



安全で円滑な危険物物流の実現を目指す

日本危険物コンテナ協会（危
コン協、大森寿
明会長）は6月
28日、総会を開
き、事業計画を
決めた。201
3年度は、タン
クコンテナの移
動タンク貯蔵所
設置許可制度の
見直しをはじめ
め、危険物輸送

関係法規の研究・調査および国際規則との整合
性に関する提言を行うほか、関係法・規則の講
習会、物流施設の見学・研修会などの活動を通
じて、安全で円滑な危険物物流の実現を目指
す。なお、役員の変更では、金井琢汪（築港相
談役）、平林俊一（ストルトニールセン・ジャ
パン代表取締役）両理事が退任し、新たに青戸
久明（築港取締役事業統括部長）、小池佳弘
（ストルトニールセン・ジャバンタンクコンテ
ナ部部长）の両氏が理事に就いた。
タンクコンテナは世界各国でISO、CSC
条約、IMDGコードの規定に従っていること
を条件に危険物の輸送が認められている。一

東京税関では、成田南部航空貨物出張所を6
月30日に廃止した。7月1日からは、成田航空
貨物出張所南部事務所として、平日のみ現在の
所在地で引き続き業務を行う。

なお、平日における輸出入申告等の受付時間
は8時30分から19時までとなるが、平日以外の日
または南部事務所の受付時間外は、成田航空貨物
出張所において輸出入申告等を受け付ける。

タンクコンテナの移動タンク貯蔵所設置許可制度の見直しを要望 初回のみ「危険物移動タンク貯蔵所」の設置許可の対象に 危コン協



改善提案の優秀賞を受賞した
3人と樋口社長（左から2番目）

件、特別賞
2件の受賞
提案が発表
された。優
秀賞には山
口営業所の
藤川格氏
（ホースを
改良し、作
業の安全と
作業の時間
を短縮）、
関東営業所

の江戸竜太氏（パレットを置く目印を床に着
け、ローラーのセンサーとの接触を防止）、赤
穂営業所の外崎満氏（移液作業時の装備を基準
車両に統一）が選ばれた。
来賓の日本化学技術連盟の阿部保氏は「（ミ
ス等を）ゼロにするという目標を明確にし、主
要要因の特定から対策に至るまでの絞り込みを
さらにブラッシュアップしてほしい」と強調。
タクテックの佐美好則社長は、社員1人ひとり
の能力アップの必要性を指摘し、「この中から
スターになる人が出てくることを期待する」と
述べた。

東京税関がフェデックスを認定通関業者に認定

東京税関は6月27日付でフェデラルエクスプ
レスコーポレーションを認定通関業者（AEO
通関業者）として認定し、認定通関業者認定書

の交付を行った。今回の認定により、認定通関
業者は、東京税関管内では29者、全国では73者
となった。

東京税関が6月30日に成田南部航空貨物出張所を廃止